

本日の案内コース

安政図十現代図を重ねた也



A 京浜
旧東町

京浜
旧東町

日比谷

旧江戸湾

250m 500m

A 京浜
京浜線

三浦山
増上寺

播磨赤松藩兵衛
森越中守忠徳
二万石

出羽羽田藩山形
酒井左衛門尉忠政
一万七千石
陣屋地

陸奥二本松藩馬
丹羽左京大夫長富
五千石

北新町
伊中持廣福
徳川
五十五万五千石

陸奥会津藩(福島)
松平肥後守容保
二十万石

美濃大府藩
氏正
一万石

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

松平陸奥中
松平陸奥中
松平陸奥中

<日時> 平成14年12月5日(木曜日=予備日は10日)

<主要行程> 八幡宿8時10分(各駅) 蘇我17分着、41分(京葉快速前方車両) 東京9時26分着 — 山の手線乗換え 浜松町10時ころ着、進行後ろ側改札(モノレールでない方の出口) 改札前、開会式 — 芝神明社 — 大門 — 芝増上寺 — 東照宮 — 芝公園(昼食) — 薩摩藩邸跡 — 勝、西郷会見の地 — 水野監物邸跡 — 旧東海道 — 札の辻 — 高輪大木戸跡 — 泉岳寺 — 細川越中守下屋敷跡 — 泉岳寺駅または白金高輪駅乗車、品川経由、八幡宿18時30分ころ着

山岸 弘明

1) はじめに (地名の起こり)

- ①浜松町=元禄時代、浜松出身の権兵衛が名主
- ②田町=田地の低地
- ③芝=古くから芝の生えた地
- ④高輪=高い縄手道。まっすぐな長い道

2) 芝神明社(港区芝大門1)

- ①社伝11世紀創建の古社で古くから庶民の崇敬を集めた。徳川家康が15石を寄進、社殿造営はすべて幕府の手で行われたが当時の建物は昭和20年の戦災で焼失。38年建造の社殿は鉄筋コンクリートで駐車場に乗った変わった立て方をしている。
- ②め組の喧嘩=文化元年2月、境内での勧進相撲で町火消しめ組と力士が喧嘩。歌舞伎「神の恵み、和合の取組」で評判に。
- ③島流しの半鐘=町奉行根岸肥前守の裁きで「鳴り出した半鐘が悪い」と島流し?。非公開だが現存。
- ④だらだら祭り=9月11日から11日間も続く秋の例大祭。余り長いので別名に。
- ⑤生姜市=家康入府当時は一面の生姜畑。神前に奉られ、市が立った。おみやげにどうぞ。

3) 大門(芝公園1、2の間)

- ①増上寺の総門でだいもんと読む、おおもんは吉原。初代は慶長10年、昭和戦災など幾度か焼失、現在は鉄筋コンクリート高麗門形式。大きな門が申し訳なさそうに交通渋滞を見下ろす。
- ②ここからが寺内。かつて両側は塔頭。瓦塀も残る。史蹟看板に芝神明、増上寺などの錦絵。
- ③大門は町のシンボル。芝大門町、大門駅、大門交差点などの地名で定着。

4) 芝増上寺(芝公園4)

- ①浄土宗大本山。正式には三縁山増上寺。14世紀麴町創建と伝わる古刹。天正18年徳川家康江戸入りにあたり菩提寺と定め、寺領20万坪を寄進して現在地に移した。江戸時代は將軍家菩提寺として保護を受け寺領1万石、支院50を数えて寺運も興隆した。昭和20年、三門など一部を除いて焼失。49年本堂などを再建した。
- ②三解脱門(三門=中門)=寛永寺の正門。元和7年2代將軍秀忠再建。増上寺でもっとも古い建物。屋根入母屋造り唐破風、本瓦葺き。2階建て楼門。5間3戸。高さ21m、間口19m、奥行9m。国指定重要文化財。楼上に釈迦如来像ほかを安置している。
- ③大殿(本堂)=鉄筋コンクリート再建。自由参拝。
- ④御成門(遠望)=増上寺の將軍専用門。御成門交差点にあったが明治20年の市区改正工事のため移築。屋根切妻造り銅板葺き4脚門。重要文化財。
- ⑤有章院靈廟二天門(〃)=現在の東京プリンスホテルにあった7代家継靈廟の総門。後出秀忠靈廟にくらべるとやや小規模、残念ながら二天門以外はすべて戦災焼失。享保3年吉宗建立。3間1戸8脚門で左右に広目天、多聞天の2天が祀られている。
- ⑥黒本尊安国殿=家康の守り本尊
- ⑦鐘楼、経堂、方丈門(黒門)

5) 徳川將軍家墓所(芝公園4)

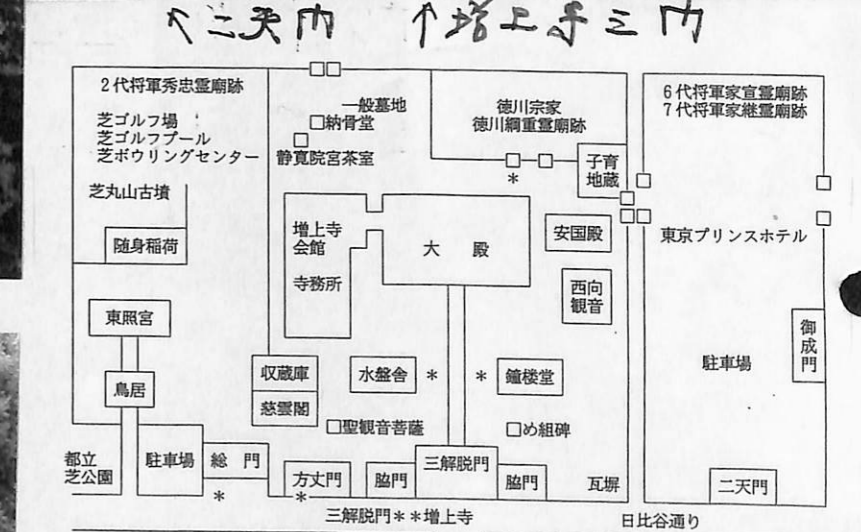
- ①戦前まで、秀忠以下6將軍の壮大な靈廟が営まれたが昭和戦災で焼失した。
- ②昭和33年、本堂裏1か所に纏めた。正面の文昭院鑄抜門は施錠、立ち入れないので墓所脇丘上から見下ろす。
- ③2代將軍秀忠=家康の3男。長男切腹で嫡子。幕府創設、初政を確立。寛永9年没54才。
- 6代家宣=家光3男綱重の子。綱吉に嗣子なく後継。正徳の治の善政。正徳2年51才。
- 7代家継=4才で將軍となるが病弱のため早世。政治は停滞し不正腐敗も。正徳6年8才。
- 9代家重=多病、言語不明瞭で大岡忠光らが補佐。宝暦11年51才。
- 12代家慶=化政時代を謳歌した家斉の嫡子。天保の改革も成功しない。嘉永6年61才。
- 14代家茂=紀伊家から養子。幕末混迷、内憂外患期。長州征伐の大坂で急逝。慶応2年21才。
- 同室和宮=仁孝天皇の皇女で公武合体のため家茂に降嫁。朝幕諸事に心を砕く。明治10年32才。
- 合祀碑=秀忠室お江など、將軍御台所、生母、子女などを合祀



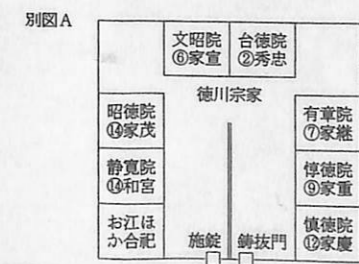
大阪城の東京タワーを見下ろす



家宣(争前)と秀忠の墓



平成13-3開へ 浄土宗大本山増上寺 大門(総門) 黒本尊御祈願



- 主要墓碑
- ②秀忠=無記(台徳院殿興運社徳善入西大居士) (石造徳川宝塔石壇上およそ3m=寛永9年)
 - ⑥家宣=無記(文昭院殿順運社清善源然大居士) (青銅徳川宝塔石壇上およそ3m=正徳2年)
 - ⑦家継=無記(有章院殿順運社東善徳大居士) (〃=正徳6年)
 - ⑨家重=無記(徳徳院殿仙蓮社高善徳大居士) (石造徳川宝塔石壇上およそ3m=宝暦11年)
 - ⑫家慶=無記(徳徳院殿天蓮社順善徳仁大居士) (〃=嘉永6年)
 - ⑬家茂=無記(昭徳院殿光蓮社沢善徳大居士) (〃=慶応2年)
 - 〃 室仁孝天皇嫡親子=無記(静寛院殿好善和順貞哉大姉) (〃=明治10年)
 - ⑭秀忠室達子、⑮長男長丸、⑯家光側室玉子(桂昌院)、⑰3男綱重、⑱長女千代姫、⑲綱吉側室伝、⑳長男徳松、㉑長女徳姫、㉒家宣室、㉓側室輝子(月光院)、㉔家斉室是子、㉕側室万、㉖長男竹千代、㉗家慶側室華、㉘側室定、㉙側室妙、㉚長男竹千代、㉛家定室任子ほか合祀合祀=無記(〃=不詳)

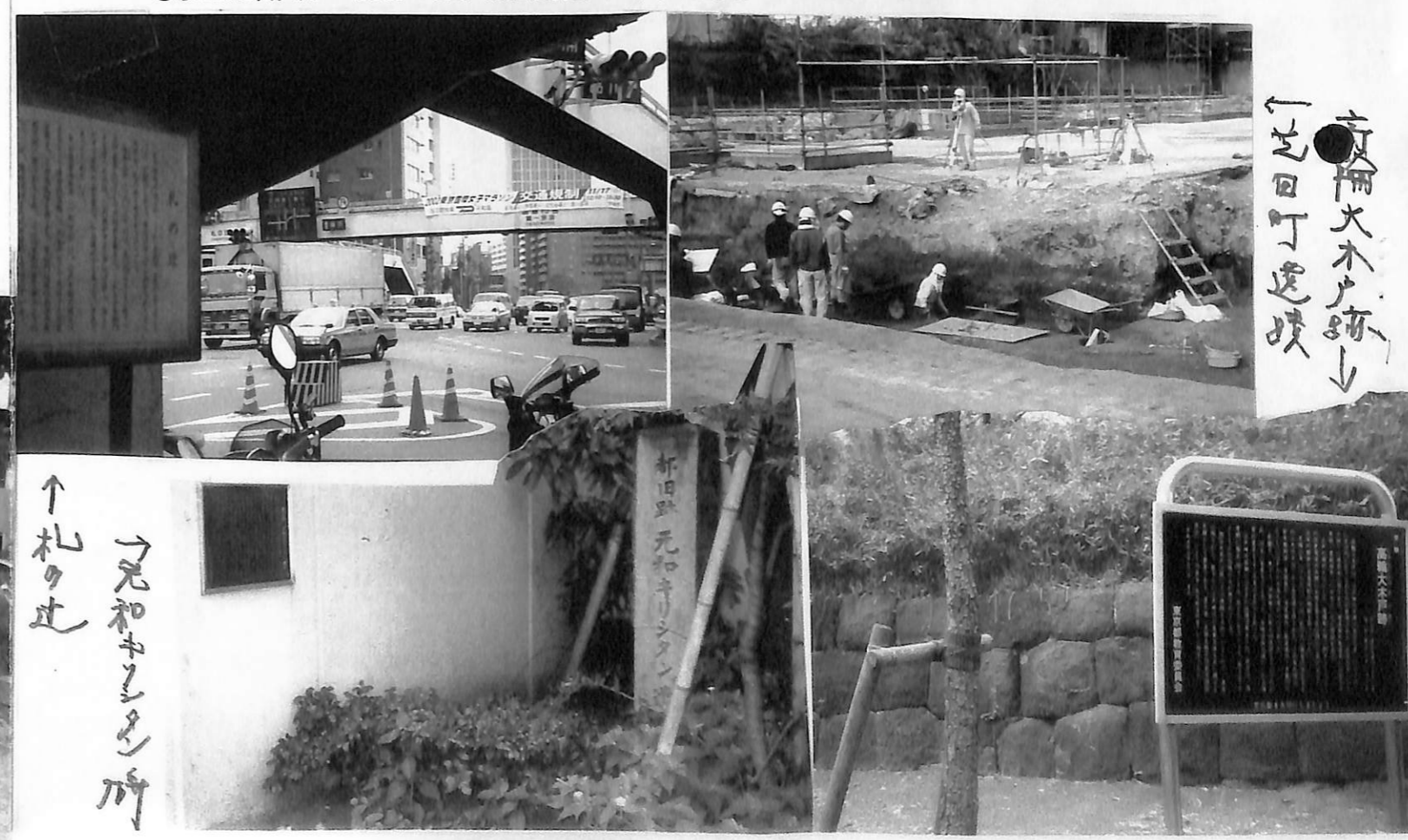


大門 ↑

芝神明社

- 6) 台徳院霊廟総門 (芝公園4)
 - ①寛永9年3代将軍家光が父秀忠霊廟の正門として建立。屋根入母屋造り唐破風、銅板葺き。朱塗り。2階建て楼門。3間1戸8脚門。和様建築の重要文化財。両脇の仁王は阿吽の金剛力士像。
 - ②台徳院霊廟は昭和戦災で焼失。勅額門だけが狭山不動尊に移築現存。
- 7) 東照宮 (芝公園4)
 - ①元和2年秀忠創建。華麗な社殿は国宝であったが昭和20年、戦災焼失。神体は家康像、本人が慶長6年に作らせたという都の指定文化財。
 - ②寛永16年再建時の家光手植、イチョウの老木。高さ22m、根回り10m、都指定。
- 8) 芝丸山古墳、芝公園 (昼食=芝公園4)
 - ①芝丸山古墳=4~5世紀南武蔵一帯を代表する豪族の墓。長径112m、都内最大の前方後円墳。
 - ②頂上に伊能忠敬測地測量の碑。明治22年建立、昭和22年再建。
- 9) 新堀川 (古川) と将監橋 (芝公園4、芝3の間)
 - ①ここまでが増上寺でこの先が武家地。
 - ②将監橋=古川を迂回させて新堀川を作るとき奉行の岡田将監屋敷が置かれたことが橋名に。300m先は江戸湾。江戸時代は回船が往き来した。
- 10) 薩摩藩邸跡 (芝5、戸板短大周辺)
 - ①薩摩藩77万石上屋敷 (公式には居屋敷)。年月不詳2代家久のころ拝領。21,785坪
 - ②慶応3年、西郷らの薩摩藩江戸治安攪乱作戦
大政奉還後、なお政権継続をめざす15代将軍徳川慶喜に政局打開のために薩摩藩が画策
過激浪人、盗賊、無頼漢を集め、市中で乱暴、狼藉、略奪を図り、和宮奪還、江戸放火を流布
 - ③慶応3年12月25日、市中警護担当の幕府兵2千が薩摩藩上屋敷と支藩佐土原藩邸を襲撃
死者50、捕縛多数、脱出30人
 - ④慶応4年1月、事件契機に鳥羽伏見の戦いはじまる。近代兵器に追いまかれる幕府軍、薩長の錦旗に狼狽する慶喜は船で大阪を脱出して江戸へ逃げ帰る。江戸開城へ。
 - ⑤薩摩藩邸の碑=最近まで事件物語る供養塔が置かれた。
- 11) 勝、西郷会見の碑 (芝5、三菱自動車本社一帯)
 - ①薩摩藩蔵屋敷跡
 - ②鳥羽伏見の戦いに勝った新政府軍 (官軍) は一気に東海道を北上、江戸をめざす。高輪へ進撃、4月15日江戸城総攻撃を決定。
 - ③3月13日、勝海舟が薩摩藩高輪下屋敷に西郷隆盛を訪ねて会見
会談第1日 (3月13日) 薩摩藩下屋敷 高輪ホテルパシフィック
会談第2日 (3月14日) 薩摩藩蔵屋敷 現在地
勝の腹芸、江戸を戦火から守る。
 - ④会談成立の舞台裏。英仏両大使館駆け引き。事前に山岡鉄舟=西郷隆盛駿府会談。

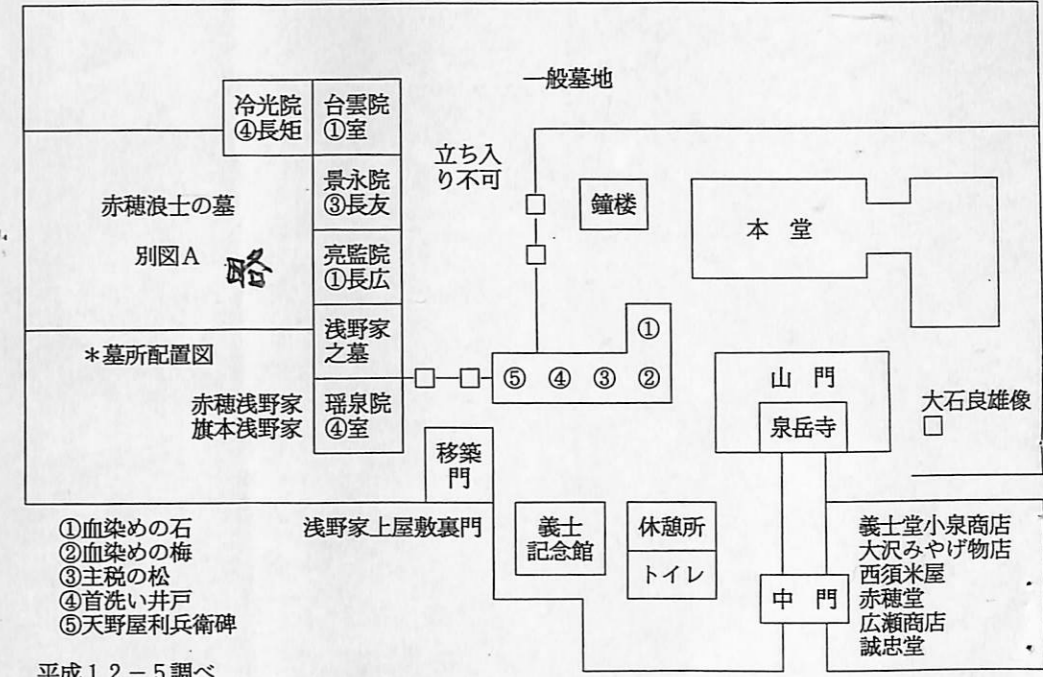
- 12) 水野監物邸跡 (港区芝5、三田慶応大学前路地一帯)
 - ①岡崎水野藩5万石中屋敷。1万坪の大名庭園もいまは石灯笼1基を残す。
 - ②赤穂浪士お預け4家の1つ。細川越中守邸 (後出)、松平隠岐守邸 (イタリア大使館)、毛利甲斐守邸 (テレビ朝日)
 - ③元禄16年2月4日、神崎与五郎、間十次郎ら8名切腹の地
- 13) 旧東海道 (第一京浜)
 - ①古代7道の一つ。慶長9年、徳川家康が江戸-京都間に53宿を定め、5街道でもっとも重要な幹線道路として道中奉行が管理した。参勤交代の大名行列が往き来した。
 - ②お江戸日本橋七つ立ち、最初の品川宿まであとわずか。このあたりで提灯の灯を消したという。
 - ③元禄14年12月15日早暁、めでたく吉良邸討ち入りを果たした赤穂浪士一行がひっそりと高輪泉岳寺をめざす。最後の1.5キロ、浪士と同じ道を歩く。
- 14) 札の辻、芝口門跡 (芝5)
 - ①芝高輪の盛り場。高札場。ここから東海道は江戸市中への道を日本橋へ向かう芝と虎の門から江戸城へ向かう飯倉の2又に分けた。
 - ②元和2年の江戸入口、芝口門跡。宝永7年江戸拡張のため高輪に大木戸を築き門は銀座入口へ移築された。
- 15) 芝田町5丁目遺跡 (三田4)
 - 丹波 (京都府) 亀山5万石松平豊前守下屋敷跡、芝田町5丁目町家跡。発掘調査地を覗く。
- 16) 元和キリシタン遺跡 (三田3)
 - ①初期の刑場跡。城下町では町はずれで罪人を処刑した。後に鈴が森に移る。
 - ②元和キリシタン遺跡碑=元和9年、寛永15年の2回、イギリス人神父らおよそ百人のキリシタンを処刑。キリスト教の弾圧は明治維新まで続いた。
- 17) 御田 (みた) 八幡神社 (三田3=小休息)
 - ①三田の語源。式内社とされる古社で渡辺綱の氏神という。湯立でその年の吉凶を占う神事が有名、検地帳、縁起絵巻、羅生門高札などを収蔵している。
 - ②石段の滝=江戸時代から知られた湧き水の滝。都内では大変めずらしい。
- 18) 高輪大木戸跡 (高輪)
 - ①宝永7年建造の江戸の入口。当初は門構えで厳重な警備を布いたと考えられるが何度か焼失して石畳だけが入口の印となった。当時の朱引 (しゅびき) で江戸払いの南端。
 - ②元来は道の両側にあったが海側だけを保存。国の指定史蹟。
- 19) 高松宮邸 (高輪1)
 - ①かつて細川越中守邸 (後出) の一部
 - ②高松宮宣仁親王=大正天皇第3皇子。昭和天皇の弟。昭和62年逝去、82才。
 - ③親王妃喜久子=慶喜の孫。旧公爵徳川声久の2女。90才、お子さまはない。



20) 泉岳寺 (高輪2)

- ①万松山泉岳寺。松は松平家の万代繁栄を、寺号は徳川家の源の泉、海岳に溢れるという。慶長17年徳川家康が今川義元の孫門庵宗関和尚を招いて外桜田に創建。寛永大火焼失後現在地へ。
- ②かつて2万余坪、七堂伽藍完備、学僧百名余の学ぶ檀林で毛利、浅野、朽木家などの菩提寺として繁栄。現在も忠臣蔵、赤穂浪士の墓所として東京名所の一つ。なぜか外人客めだつ。
- ③大石内蔵介銅像=大正12年浪曲師桃中軒雲右衛門発願で建造。着流し姿で手に連判状。目線は東の空。赤穂から遠く江戸の吉良上野介を睨む。
- ④山門=天保年間再建、泉岳寺唯一の現存建造物。屋根入母屋造り2階造り楼門。8脚門。楼上に十六羅漢像を安置するが立ち入れない。階下天井に関義則の銅造り龍。作者が両親供養のため寄進したもので江戸三名物の一つとされた。
- ⑤本堂=昭和20年戦災焼失。28年再建。屋根入母屋造り、向拝唐破風、鎌倉様式。本尊は釈迦如来。正面「獅子孔」は熊本藩主細川斉宣筆。
- ⑥義士記念館、血染めの梅、主税の松、首洗い井戸
- ⑦義士墓入口の門=浅野家鉄砲洲上屋敷の裏門。大石良雄の通った門。謙譲の美德を追慕して明治はじめ移築。むくり屋根。5万石クラス大名門としては小さい。
- ⑧赤穂浅野家墓所
瑤泉院阿久里の墓=一門三次浅野長治の2女で内匠頭の正室。2才で婚約、5才同棲、10才結婚。夫切腹後は剃髪して寿昌院、のち瑤泉院と改めた。討ち入り前日大石が訪ねたとされる南部坂の別荘は創作。正徳4年、41才で逝去。墓は夫より立派。
亮監院弟長広の墓=赤穂のうち新田3千石を分知され旗本に列したが、元禄8年、長矩に世嗣なく嗣子として幕府へ届け出る。長矩の刃傷により閉門、翌15年7月松平安芸守お預け、長広を立てた浅野家の再興を願いは成功しない。討ち入り後の宝永6年綱吉の薨去で大赦。翌7年、家宣に拝謁、新知5百石旗本寄合に復して子孫が安房国などの采地を明治維新に繋いだ。
- ⑨浅野長矩の墓=赤穂浅野家3代長友の嫡子として江戸に生まれる。父早世のあとを受けて延宝3年わずか9才で襲封。従五位下内匠頭。35才の元禄14年3月14日、吉良上野介に刃傷、即日田村右京大夫邸で切腹。
- ⑩泉岳寺引上げと墓前報告=元禄15年12月15日五つ(朝8時ころ)過ぎ泉岳寺到着。上野介の首級を長矩の墓前に供える。首級は翌16日受取りに来た吉良家家臣に引き取られ、受領書が泉岳寺の宝物として残っている。
- ⑪赤穂義士の墓=切腹した大石良雄以下46人と生き残った寺坂吉右衛門、自害した茅野三平加えた48基。うち3基は供養塔。間十次郎と寺坂の本墓は築地本願寺、麻布曹溪寺、仇役吉良義央は中野功運寺、養子義周は配流先の諏訪市法華寺、義央夫人は広尾東北寺にある。配置は預かり先別。線香の煙が立ち込め、一日中お参りの列が絶えることはない。

大石切腹の地



平成12-5調べ

- ①血染めの石
 - ②血染めの梅
 - ③主税の松
 - ④首洗い井戸
 - ⑤天野屋利兵衛碑
- 主要墓碑
赤穂浅野家
①長重室松平清娘=台雲院殿月心宗珠大姉(位牌型およそ1.5m)
②長友=景永院殿前朝散大夫行来心口異即大居士神儀(楕型およそ1.5m=延享3年)
③長矩=冷光院殿前小府朝散大夫吹毛玄利大居士(〃 3m=元禄14年)
④〃 室浅野長治娘阿久里=瑤泉院殿良口正澄大姉(わらび手傘塔婆およそ3m=正徳4年)
旗本浅野家(寛政譜5-349、500石)
①長広=亮監院殿月清涼山居士之墓(角柱およそ1.5m=享保19年)
②長純、③長延はか合祀=浅野家墓(〃)



大石内蔵助像



泉岳寺

竹寺の塔



浅野内匠頭之墓



細川町の花 時間あれば大久保参道へ 4月9日花見バスツアー

- 21) 細川越中守下屋敷跡 (高輪1=高松中学校、都営マンション、高松宮邸一带)
 - ①熊本細川藩54万石下屋敷。2万5千坪、高台が御殿向きで低地は庭園。
 - ②赤穂浪士討ち入りの日夜(16日未明)大石内蔵助以下17名預かり。最大級の扱ひ。元禄16年2月4日午後4~6時切腹。1体ごと駕籠で泉岳寺に送り10時ころ葬儀。未明埋葬。
 - ③切腹の地を保存。細川藩邸シイの老木。
 - 22) 都営浅草線泉岳寺駅または三田線白金高輪駅(解散)
 - ①泉岳寺から地下鉄で1駅品川乗換え
 - ②白金高輪から地下鉄で2駅目黒乗換え、品川乗換え
- 今後の予定=1月はお休み(詳細は平成15年前半のスケジュールおよび予告編を参照ください)
 2月19日(水曜日)=第19回*亀戸天神と両国周辺を歩く
 3月15日(土曜日)=第20回*小山城と古河城を歩く
 4月14日(月曜日)=第21回*高遠城と諏訪高島城、信濃路の城と桜バスツアー(特別企画=受付開始2月19日、口頭予約可、定員次第締切り)
 問い合わせ先=城と史蹟を歩く会 山岸0436-42-2237



増上寺↑と泉岳寺↓の記念写真



芝神明社



東照宮 →



高輪大木戸



泉岳寺



↑将軍家墓廟 ↓増上寺三門



増上寺の塔中



西郷 勝会見の地



細川邸↑

大久保彦左の墓↑



泉岳寺↑↓

城と史蹟を歩く会第18回「芝増上寺と泉岳寺周辺を歩く」

ALBUM

平成14年12月5日

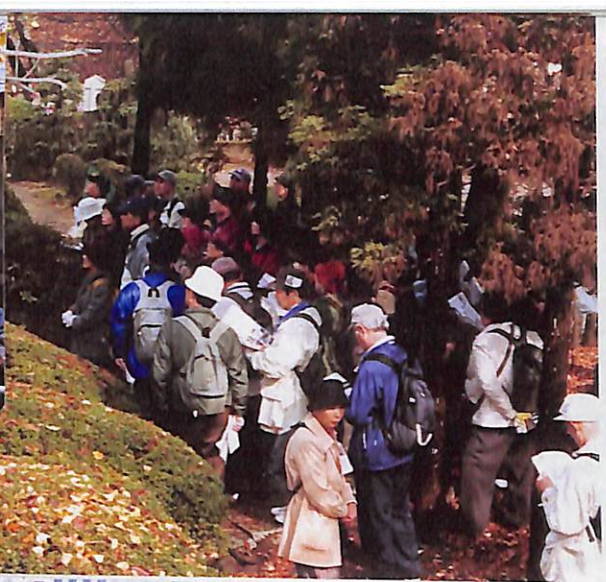
主要コース
芝神明社、芝増上寺、徳川将軍家墓所、芝東照宮、芝公園、薩摩藩邸跡、勝・西郷会見の地、神崎与五郎ら切腹の地、旧東海道、元和キリシタン遺跡、高輪大木戸、高輪泉岳寺、細川越中守屋敷跡、大久保彦左衛門の墓
参加者 48名(あいうえお順=敬称略)
熱田百代、石原志津子、板垣てる、稲葉ミツ子、猪野春枝、今井勝昭、今井典夫、大谷安弘、岡本千代、小倉すみ、小野芳樹、加藤幸子、金子昭子、桑原絹枝、佐倉光子、白土貞子、渋谷奎吾、鈴木淳子、鈴木クニ子、鈴木満、鈴木洋子、藤田康男、高沢 毅、高城正雄、高城富子、竹上 茂、武見敏治、近久芳彦、千葉範子、続木 暉、続木夫人、中村節子、永山寛一、永山節子、西村澄子、堀口妙子、松川綾子、松橋とし子、柳沼房子、吉永正子、吉池一彦、渡辺清枝、山岸弘明、国分三男、小出惣治、高沢恒子、鷲津寛子、藪本テイ子。



増上寺↑と泉岳寺↓の記念写真



芝神明社



泉岳寺

東照宮 →



高輪大木戸



西郷・勝会見の地



↑将軍家霊廟 ↓増上寺三門



増上寺の塔中



泉岳寺↑↓

城と史蹟を歩く会第18回「芝増上寺と泉岳寺周辺を歩く」

ALBUM

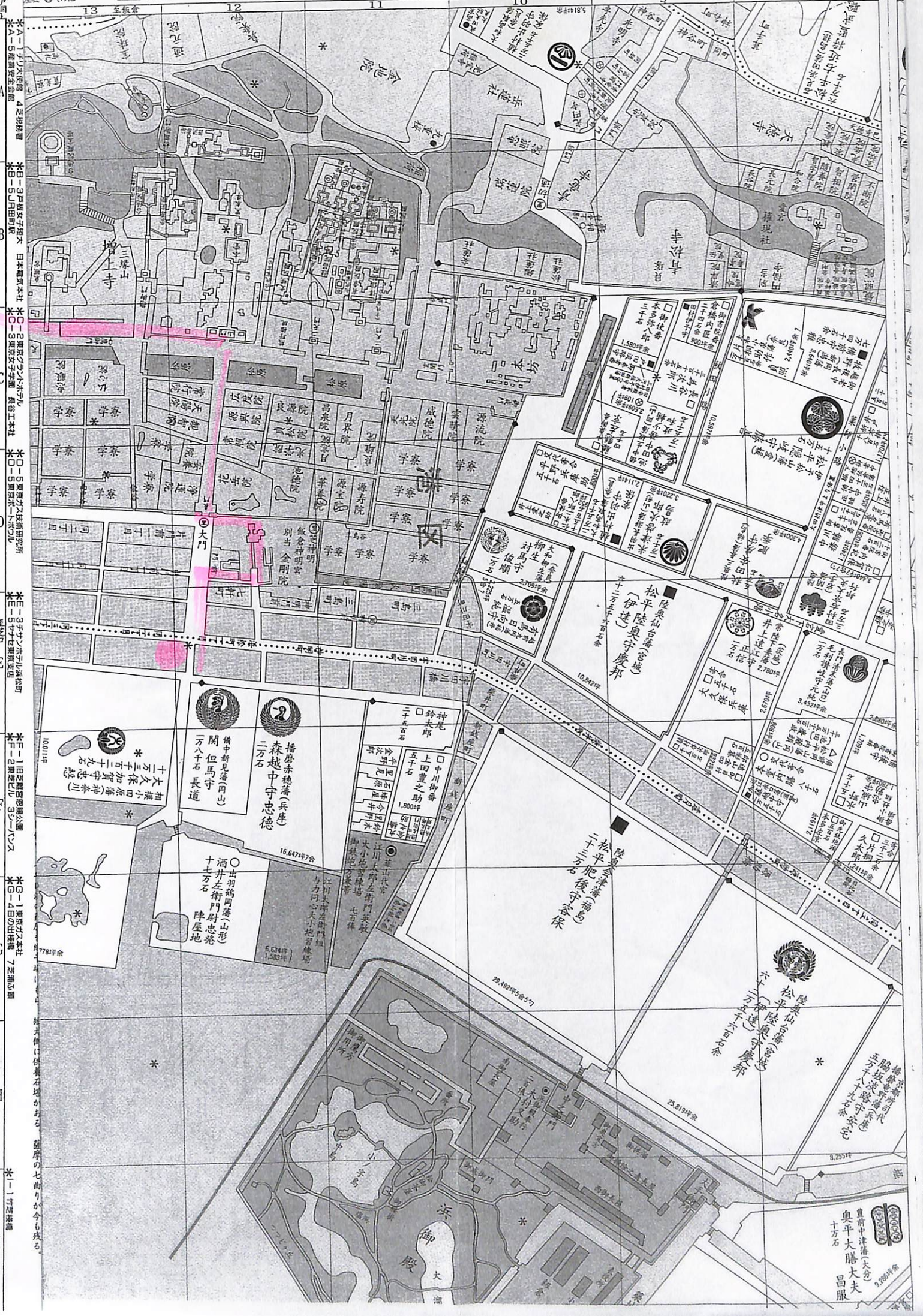
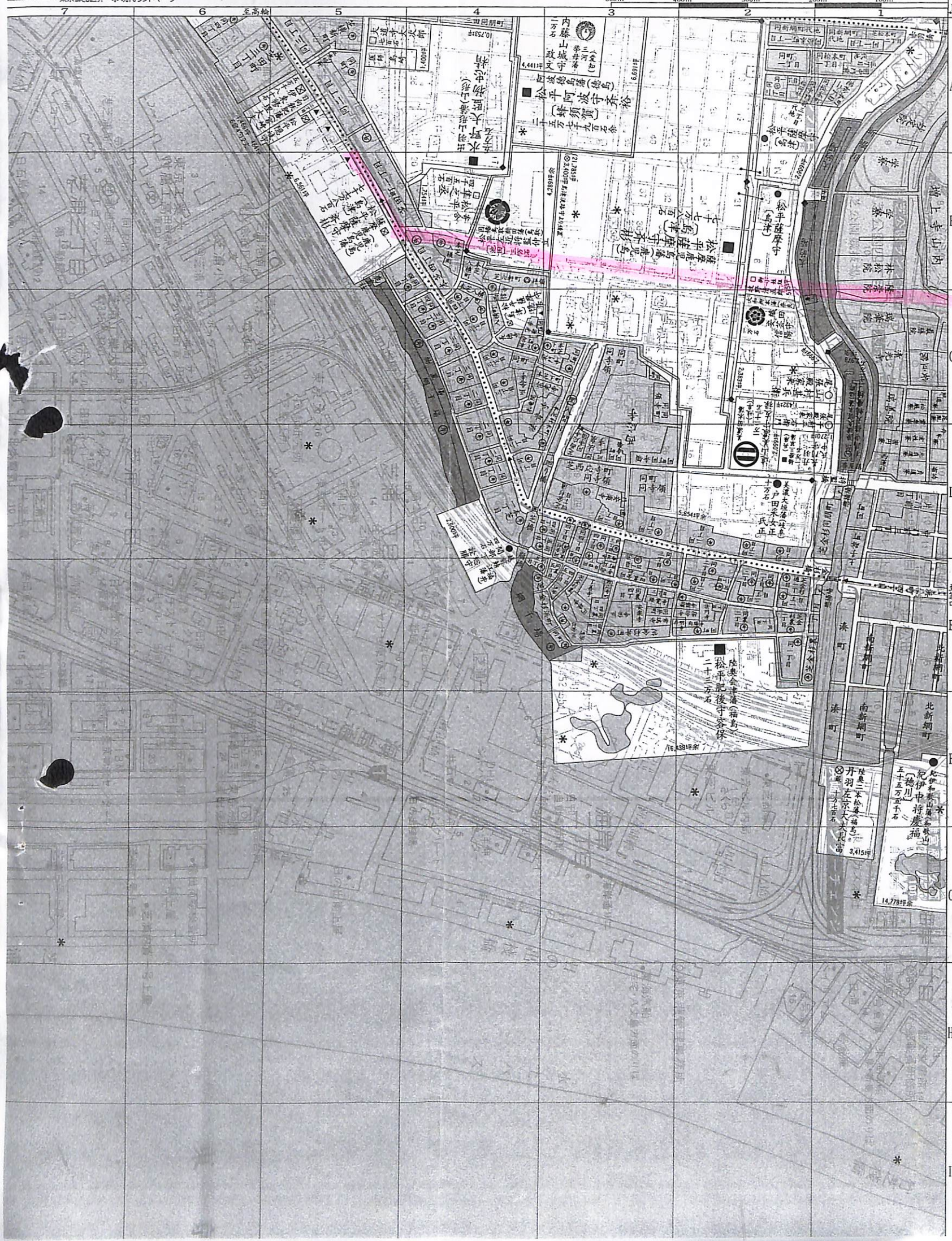
平成14年12月5日

主要コース
芝神明社、芝増上寺、徳川将軍家墓所、芝東照宮、芝公園、薩摩藩邸跡、勝・西郷会見の地、神崎与五郎ら切腹の地、旧東海道、元和キリシタン遺跡、高輪大木戸、高輪泉岳寺、細川越中守屋敷跡、大久保彦左衛門の墓
参加者 48名(あいうえお順=敬称略)
熱田百代、石原志津子、板垣てる、稲葉ミツ子、猪野春枝、今井勝昭、今井典夫、大谷安弘、岡本千代、小倉すみ、小野芳樹、加藤幸子、金子昭子、桑原絹枝、佐倉光子、白土貞子、渋谷奎吾、鈴木淳子、鈴木クニ子、鈴木満、鈴木洋子、藤田康男、高沢 毅、高城正雄、高城富子、竹上 茂、武見敏治、近久芳彦、千葉範子、続木 暉、続木夫人、中村節子、永山寛一、永山節子、西村澄子、堀口妙子、松川綾子、松橋とし子、柳沼房子、吉永正子、吉池一彦、渡辺清枝、山岸弘明、国分三男、小出惣治、高沢恒子、鷺津寛子、藪本テイ子。



細川郎↑

大久保彦左の墓↑



皇前中津藩大分
 奥平大膳大夫
 昌服
 10万石

寺 D1 天正五年(1577)に四神の井を成し弘法起
 い、貞永元年(一一二)觀來往、御下最吉最大
 香を成して海(都指)修淨土真宗に改宗、元應初
 後此宗徒と布教認定、信長本願寺改め、後、教
 首長所選、赤吉禁制、軍末初の本公使修む、ハリス
 坂頭で通成ヒエーケン時、滿次路吉の展、
 門町 E1 芝新町(四)移った代地の屋、
 平川福源商店 G1 赤吉(一〇〇)馬車街
 水C1-2ア12バ2子大皮履
 水C1-2ア13ア大皮履
 水C1-3日置松原
 水E1一日置松原
 水E1一日置松原下交差点
 水G1-2ア12バ2子大皮履
 水G1-2ア13ア大皮履
 水G1-2ア13ア大皮履

| |
|--------------------------------|
| 1000坪 (331m ²) |
| 1,000坪 (3,305m ²) |
| 500坪 (1,653m ²) |
| 3,000坪 (9,917m ²) |
| 4,000坪 (13,223m ²) |
| 5,000坪 (16,529m ²) |
| (1坪 = 3.30579m ²) |

